

研修機関情報

HP 参照 (<http://www.narasaho-c.ac.jp/>)

研修の概要

（1）受講対象者

介護について関心があり、意欲的に受講する者。また、研修終了後に介護分野への就業を希望している者。

（2）研修スケジュール

研修期間 平成 28 年 4 月～11 月の 8 ヶ月間

研修時間数 132 時間（12 時間の実習を含む）

研修日程 別紙参照

（3）受講定員と指導者数

受講定員 30 名（奈良佐保短期大学生を含む）

指導者数 12 名

（4）研修受講までの流れ

希望者に対して説明資料を配布し、説明会を実施する。学則、研修カリキュラム、受講手続方法を説明する。説明会までの問い合わせには個別に対応する。指定の書類で申し込みを行い、受講料を納付することで受講手続を完了する。

募集期間 平成 28 年 4 月 1 日（水）～4 月 12 日（火）

9：30～16：30

説明会 平成 28 年 4 月 6 日（水）本学 6 号館 631 教室

手続方法 本学総務部で必要書類を記入の上、受講料を納入する。

※一般の受講希望者の方はまずはお電話でお問い合わせください。

（5）受講料(実習費、テキスト代を含む)

奈良佐保短期大学学生 受講料 30,000 円

奈良佐保短期大学卒業生 受講料 40,000 円

一般 受講料 65,000 円

研修カリキュラム（課程編成責任者 武田千幸）

別紙参照

使用テキスト

介護職員初任者研修テキスト（中央法規 黒澤貞夫、石橋真二、是枝祥子、上原千寿子、白井孝子＝編集）

修了評価（修了評価者 武田千幸）

すべてのカリキュラム（12 時間の実習を含む）を終了後、修了評価を筆記試験をもって行う。不合格の場合は再試験手続きをとり、再試験を受験することができる。

実習施設

別紙参照

講師情報

別紙参照

実績情報

(1) 過去の研修実施回数

平成 21 年度より毎年一回開催 現在までで 7 回実施

(2) 過去の研修延べ参加人数

平成 21 年度 29 名

平成 22 年度 21 名

平成 23 年度 22 名

平成 24 年度 25 名

平成 25 年度 20 名

平成 26 年度 17 名

平成 27 年度 13 名

連絡先等

(1) 申し込み・資料請求・問い合わせ先

奈良佐保短期大学 介護職員初任者研修担当 武田千幸

〒630-8566 奈良市鹿野園町 806

TEL 0742-61-3858 fax 0742-61-8054

(2) 苦情対応者

法人 東崎元宏 奈良佐保短期大学 学生支援センター長

研修 武田千幸 奈良佐保短期大学 講師

連絡先 〒630-8566 奈良市鹿野園町 806

TEL 0742-61-3858 fax 0742-61-8054

研修日程表

H28年度

科目名 教科名	担当講師名	資格等	研修日時			時間 配分	う ち				研修会場
			月 日	曜日	時		通学 (講義)	通信	演習	実習	
開講式			4月16日	土	9:15-9:30						
1. 職務の理解											
(1)多様なサービスの理解	森永夕美	介護福祉士	4月16日	土	9:30-11:30	2	2				奈良佐保短期大学
(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解	森永夕美	介護福祉士	4月16日	土	12:30-16:30	4	4				奈良佐保短期大学
2. 介護における尊厳の保持・自立支援											
(1)人権と尊厳を支える介護	潮谷光人	社会福祉士	5月14日	土	9:10-12:10	3	3				奈良佐保短期大学
(2)自立に向けた介護	脇元正三	介護福祉士	4月23日	土	9:30-12:30	6	3				奈良佐保短期大学
			4月23日	土	13:30-16:30						3
3. 介護の基本											
(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	永山 愛	介護福祉士	4月30日	土	9:30-11:00	1.5	1.5				奈良佐保短期大学
(2)介護職の職業倫理			4月30日	土	11:00-12:30	1.5	1.5				奈良佐保短期大学
(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント			4月30日	土	13:30-15:00	1.5	1.5				奈良佐保短期大学
(4)介護職の安全			4月30日	土	15:00-16:30	1.5	1.5				奈良佐保短期大学
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携											
(1)介護保険制度	潮谷光人	社会福祉士	5月7日	土	9:30-12:30	5	3				奈良佐保短期大学
			5月7日	土	13:30-15:30						2
(2)医療との連携とリハビリテーション	安永龍子	保健師	5月14日	土	15:10-17:10	2	2				奈良佐保短期大学
(3)障害者自立支援制度およびその他制度	潮谷光人	社会福祉士	5月14日	土	13:00-15:00	2	2				奈良佐保短期大学
5. 介護におけるコミュニケーション技術											
(1)介護におけるコミュニケーション	脇元正三	介護福祉士	5月21日	土	9:30-12:30	3	3				奈良佐保短期大学
(2)介護におけるチームのコミュニケーション			5月21日	土	13:30-16:30	3	3				奈良佐保短期大学
6. 老化の理解											
(1)老化に伴うところとからだの変化と日常	水野尚美	看護師	6月26日	日	9:30-12:30	3	3				奈良佐保短期大学
(2)高齢者と健康	安永龍子	保健師	5月28日	土	13:30-16:30	3	3				奈良佐保短期大学
7. 認知症の理解											
(1)認知症を取り巻く状況	水野尚美	看護師	6月26日	日	13:30-15:00	1.5	1.5				奈良佐保短期大学
(2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理			6月26日	日	15:00-16:30	1.5	1.5				奈良佐保短期大学
(3)認知症に伴うところと体の変化と日常生活	小木曾真司	介護福祉士	7月2日	土	14:00-15:30	1.5	1.5				奈良佐保短期大学
(4)家族への支援			7月2日	土	15:30-17:00	1.5	1.5				奈良佐保短期大学
8. 障害の理解											
(1)障害の基礎的理解	安永龍子	保健師	5月28日	土	9:30-10:30	1	1				奈良佐保短期大学
(2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かわり支援等の基礎的知識			5月28日	土	10:30-11:30	1	1				奈良佐保短期大学
(3)家族の心理、かわり支援の理解			5月28日	土	11:30-12:30	1	1				奈良佐保短期大学

科目名	担当講師名	資格等	研修日時			時間配分	うち				研修会場
			月	日	曜日		時	通学 (講義)	通信	演習	
9. こころとからだのしくみと生活支援技術											
【Ⅰ. 基礎知識の学習】											
(1)介護の基本的な考え方	水野尚美	看護師	7月16日	土	9:30-11:30	2	2				奈良佐保短期大学
(2)介護に関するところのしくみの基礎的理解			7月16日	土	12:30-16:30	4	4				奈良佐保短期大学
(3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解	武内一泰	介護福祉士	7月9日	土	9:30-12:30	5	3				奈良佐保短期大学
			7月9日	土	13:30-15:30		2				奈良佐保短期大学
【Ⅱ. 生活支援技術の学習】											
(4)生活と家事	中村妙子 助手 武田千幸	養成施設教員 介護福祉士	8月9日	火	9:30-12:30	6	1		2		奈良佐保短期大学
	池内ますみ 助手 武田千幸	養成施設教員 介護福祉士	8月9日	火	13:30-16:30		1		2		奈良佐保短期大学
(5)快適な居住環境整備と介護	武田千幸 助手 潮谷光人	介護福祉士	7月2日	日	9:10-13:10	4	2		2		奈良佐保短期大学
(6)整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	武田千幸 助手 藤井春美	介護福祉士	7月23日	土	9:30-12:30	6	3				奈良佐保短期大学
			7月23日	土	13:30-16:30				3		奈良佐保短期大学
(7)移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	武内一泰 助手 水山七瀬	介護福祉士	7月31日	日	9:30-12:30	9	3				奈良佐保短期大学
			7月31日	日	13:30-16:30				3		奈良佐保短期大学
			8月6日	土	9:30-12:30				3		奈良佐保短期大学
(8)食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	玖島貴宏 助手 重富直子	介護福祉士	8月4日	木	9:30-12:30	8	2		1		奈良佐保短期大学
			8月4日	木	13:30-15:30				2		奈良佐保短期大学
			8月29日～ 11月30日		9:00-16:00				3		実習施設
(9)入浴、生活保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	玖島貴宏 助手 永田晃子	介護福祉士	8月8日	月	9:30-12:30	8	2		1		奈良佐保短期大学
			8月8日	月	13:30-15:30				2		奈良佐保短期大学
			8月29日～ 11月30日		9:00-16:00				3		実習施設
(10)排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	玖島貴宏 助手 大野美紀	介護福祉士	8月10日	水	9:30-12:30	6	3				奈良佐保短期大学
			8月10日	水	13:30-16:30				3		奈良佐保短期大学
(11)睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護	武田千幸 助手 安永龍子	介護福祉士	8月17日	水	9:30-11:30	4.5	2				奈良佐保短期大学
			8月17日	水	12:30-15:00				2.5		奈良佐保短期大学
(12)死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護	水野尚美 助手 潮谷光人	看護師	8月17日	水	15:10-16:40	1.5	1		0.5		奈良佐保短期大学
【Ⅲ. 生活支援技術演習】											
(13)介護過程の基礎的理解	小木曾真司	介護福祉士	8月21日	日	9:10-11:10	2	2				奈良佐保短期大学
(14)総合生活支援技術演習	小木曾真司 助手 森永夕美	介護福祉士	8月21日	日	12:10-16:10	9	2		2		奈良佐保短期大学
	森永夕美 助手 小木曾真司	介護福祉士	8月27日	土	9:10-12:10				3		奈良佐保短期大学
			8月27日	土	13:00-15:00				2		奈良佐保短期大学
10. 振り返り											
(1)振り返り	小木曾真司	介護福祉士	8月29日～ 11月30日		9:00-16:00	2				2	実習施設
(2)就業への備えと研修修了後における継続的な研修	武田千幸	介護福祉士	8月29日～ 11月30日		9:00-16:00	2				2	実習施設
その他、実習											

科目名	担当講師名	資格等	研修日時			時間配分	うち				研修会場	
			月	日	曜日		時	通学 (講義)	通信	演習		実習
施設見学等実習	小木曾真司 武田千幸	介護福祉士	8月29日～ 11月30日			9:00-16:00	2				2	実習施設
閉校式												
計(130H)							132	12				

科目別シラバス

1 職務の理解（講義：6時間） 担当 森永夕美

内 容	<p>1. 多様なサービスの理解 2時間 ○介護保険サービス（居宅、施設）、○介護保険外サービス</p> <p>2. 介護職の仕事内容や働く現場の理解 4時間 ○居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容 ○居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的なイメージ （視聴覚教材の活用、現場職員の体験談、サービス事業所における受講者の選択による実習・見学等） ○ケアプランの位置付けに始まるサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ・他職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携</p>
--------	---

2 介護における尊厳の保持・自立支援（9時間） 担当 潮谷光人・脇元正三

内 容	<p>1. 人権と尊厳を支える介護 3時間（担当 潮谷光人）</p> <p>(1) 人権と尊厳の保持 ○個人としての尊重、○アドボカシー、○エンパワメントの視点、○「役割」の実感、○尊厳のある暮らし、○利用者のプライバシーの保護</p> <p>(2) ICF 介護分野におけるICF</p> <p>(3) QOL ○QOLの考え方、○生活の質</p> <p>(4) ノーマライゼーション ノーマライゼーションの考え方</p> <p>(5) 虐待防止・身体拘束禁止 ○身体拘束禁止、○高齢者虐待防止法、○高齢者の養護者支援</p> <p>(6) 個人の権利を守る制度の概要 ○個人情報保護法、○成年後見制度、○日常生活自立支援事業</p> <p>2. 自立に向けた介護 6時間（担当 脇元正三）</p> <p>(1) 自立支援 ○自立・自律支援、○残存能力の活用、○動機の欲求、○意欲を高める支援、○個別性／個別ケア、○重度化防止</p> <p>(2) 介護予防 介護予防の考え方</p> <p>(3) 介護現場での実際について</p>
--------	---

3 介護の基本（6時間） 担当 永山愛

内 容	<ul style="list-style-type: none">1. 介護職の役割、専門性と多職種との連携<ul style="list-style-type: none">(1) 介護環境の特徴の理解<ul style="list-style-type: none">○訪問介護と施設介護サービスの違い、○地域包括ケアの方向性(2) 介護の専門性<ul style="list-style-type: none">○重度化防止・遅延化の視点、○利用者主体の支援姿勢、○自立した生活を支えるための援助、○根拠のある介護、○チームケアの重要性、○事業所内のチーム、○多職種から成るチーム(3) 介護に関する職種<ul style="list-style-type: none">○異なる専門性を持つ多職種の理解、○介護支援専門員、○サービス提供責任者、○看護師等とチームとなり利用者を支える意味、○互いの専門職能力を活用した効果的なサービスの提供、○チームケアにおける役割分担2. 介護職の職業倫理 職業倫理<ul style="list-style-type: none">○専門職の倫理の意義、○介護の倫理（介護福祉士の倫理と介護福祉士制度等）、○介護職としての社会的責任、○プライバシーの保護・尊重3. 介護における安全の確保とリスクマネジメント<ul style="list-style-type: none">(1) 介護における安全の確保<ul style="list-style-type: none">○事故に結びつく要因を探り対応していく技術、○リスクとハザード(2) 事故予防、安全対策<ul style="list-style-type: none">○リスクマネジメント、○分析の手法と視点、○事故に至った経緯の報告（家族への報告、市町への報告等）、○情報の共有(3) 感染対策<ul style="list-style-type: none">○感染の原因と経路（感染源の排除、感染経路の遮断）、○「感染」に対する正しい知識4. 介護職の安全 介護職の心身の健康管理<ul style="list-style-type: none">○介護職の健康管理が介護の質に影響、○ストレスマネジメント、○腰痛の予防に関する知識、○手洗い・うがいの励行、○手洗いの基本、○感染症対策
--------	---

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（9時間） 担当 安永龍子・潮谷光人

内 容	<p>1. 介護保健制度 5時間（担当 潮谷光人）</p> <p>(1) 介護保険制度創設の背景及び目的、動向 ○ケアマネジメント、○予防重視型システムへの転換、○地域包括支援センターの設置、○地域包括ケアシステムの推進</p> <p>(2) 仕組みの基礎的理解 ○保険制度としての基本的仕組み、○介護給付と種類、○予防給付、○要介護認定の手順</p> <p>(3) 制度を支える財源、組織、団体の機能と役割 ○財政負担、○指定介護サービス事業者の指定</p> <p>2. 医療との連携とリハビリテーション 2時間（担当 安永龍子） ○医行為と介護、○訪問看護、○施設における看護と介護の役割・連携、○リハビリテーションの理念</p> <p>3. 障害者総合支援制度およびその他制度 2時間（担当 潮谷光人）</p> <p>(1) 障害者福祉制度の理念 ○障害の概念、○ICF（国際生活機能分類）</p> <p>(2) 障害者総合支援制度の仕組みの基礎的理解 ○介護給付・訓練等給付の申請から支給決定まで</p> <p>(3) 個人の権利を守る制度の概要 ○個人情報保護法、○成年後見制度、○日常生活自立支援事業</p>
--------	--

5 介護におけるコミュニケーション技術（6時間） 担当 脇元正三

内 容	<p>1. 介護におけるコミュニケーション 3時間</p> <p>(1) 介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 ○相手のコミュニケーション能力に対する理解や配慮、○傾聴、○共感の応答</p> <p>(2) コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーション ○言語的コミュニケーションの特徴、○非言語コミュニケーションの特徴</p> <p>(3) 利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ○利用者の思いを把握する、○意欲低下の要因を考える、○利用者の感情に共感する、○家族の心理的理解、○家族へのいたわりと励まし、○信頼関係の形成、○自分の価値観で家族の意向を判断し非難することがないようにする、○アセスメントの手法とニーズとデマンドの違い</p> <p>(4) 利用者の状況・状況に応じたコミュニケーション技術の実際 ○視力、聴力の障害に応じたコミュニケーション技術、○失語症に応じたコミュニケーション技術、○構音障害に応じたコミュニケーション技術、○認知症に応じたコミュニケーション技術</p> <p>2. 介護におけるチームのコミュニケーション 3時間</p> <p>(1) 記録における情報の共有化 ○介護における記録の意義・目的、利用者の状態を踏まえた観察と記録、○介護に関する記録の種類、○個別援助計画書（訪問・通所・入所・福祉用具貸与等）、○ヒヤリハット報告書、○5W1H</p> <p>(2) 報告 ○報告の留意点、○連絡の留意点、○相談の留意点</p> <p>(3) コミュニケーションを促す環境 ○会議、○情報共有の場、○役割の認識の場（利用者と頻回に接触する介護者に求められる観察眼）、○ケアカンファレンスの重要性</p>
--------	---

6 老化の理解（6時間） 担当 水野尚美 安永龍子

内 容	<p>1. 老化に伴うところとからだの変化と日常 3時間（担当 水野尚美）</p> <p>(1) 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ○防衛反応（反射）の変化、○喪失体験</p> <p>(2) 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響 ○身体的機能の変化と日常生活への影響、○咀嚼機能の低下、○筋・骨・関節の変化、○体温維持機能の変化、○精神的機能の変化と日常生活への影響</p> <p>2. 高齢者と健康 3時間（担当 安永龍子）</p> <p>(1) 高齢者の疾病と生活上の留意点 ○骨折、○筋力の低下と動き・姿勢の変化、○関節痛</p> <p>(2) 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点 ○循環器障害（脳梗塞、脳出血、虚血性心疾患）、○循環器障害の危険因子と対策、○老年期うつ病症状（強い不安感、焦燥感を背景に、「訴え」の多さが全面に出る、うつ病性仮性認知症）、○誤嚥性肺炎、○病状の小さな変化に気付く視点、○高齢者は感染症にかかりやすい</p>
--------	--

7 認知症の理解（6時間） 担当 水野尚美 小木曾真司

内 容	<p>1. 認知症を取り巻く状況 1.5時間（担当 水野尚美） 認知症ケアの理念 ○パーソンセンタードケア、○認知症ケアの視点（できることに着目する）</p> <p>2. 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 1.5時間（担当 水野尚美） 認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、健康管理 ○認知症の定義、○もの忘れとの違い、○せん妄の症状、○健康管理（脱水・便秘・低栄養・低運動の防止、口腔ケア）、○治療、○薬物療法、○認知症に使用される薬</p> <p>3. 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活 1.5時間（担当 小木曾真司）</p> <p>(1) 認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴 ○認知症の中核症状、○認知症の行動・心理症状（BPSD）、○不適切なケア、○生活環境で改善</p> <p>(2) 認知症の利用者への対応 ○本人の気持ちを推察する、○プライドを傷つけない、○相手の世界に合わせる、○失敗しないような状況をつくる、○すべての援助行為がコミュニケーションであると考えること、○身体を通じたコミュニケーション、○相手の様子・表情・視線・姿勢などから気持ちを洞察する、○認知症の進行に合わせたケア</p> <p>4. 家族への支援 1.5時間（担当 森永夕美） ○認知症の受容過程での援助、○介護負担の軽減（レスパイトケア）</p>
--------	---

8 障害の理解（3時間） 担当 安永龍子

内 容	<p>1. 障害の基礎的理解</p> <p>(1) 障害の概念とICF ○ICFの分類と医学的分類、○ICFの考え方</p> <p>(2) 障害者福祉の基本理念 ○ノーマライゼーションの概念</p> <p>2. 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識</p> <p>(1) 身体障害 ○視覚障害、○聴覚、平衡障害、○音声・言語・咀嚼障害、○肢体不自由、○内部障害</p> <p>(2) 知的障害 ○知的障害</p> <p>(3) 精神障害（高次脳機能障害・発達障害を含む） ○統合失調症・気分（感情障害）・依存症などの精神疾患、○高次脳機能障害、○広汎性発達障害・学習障害・注意欠陥多動性障害などの発達障害</p> <p>(4) その他の心理の機能障害</p> <p>3. 家族の心理、かかわり支援の理解 家族への支援 ○障害の理解・障害の受容支援、○介護負担の軽減</p>
--------	--

9 こころとからだのしくみと生活支援技術（75時間）

基礎知識の学習 11時間 担当 水野尚美 武内一泰

内 容	<p>(1) 介護の基本的な考え方 2時間（担当 水野尚美） ○倫理に基づく介護（ICFの視点に基づく生活支援、我流介護の排除）、 ○法的根拠に基づく介護</p> <p>(2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解 4時間（担当 水野尚美） ○学習と記憶の基礎知識、○感情と意欲の基礎知識、○自己概念と生きがい、○老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因、○こころの持ち方が行動に与える影響、○からだの状態がこころに与える影響</p> <p>(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 5時間（担当 武内一泰） ○人体の各部の名称と動きに関する基礎知識、○骨・関節・筋に関する基礎知識、ボディメカニクスの活用、○中枢神経系と体性神経に関する基礎知識、○自律神経と内部器官に関する基礎知識、○こころとからだを一体的に捉える、○利用者の様子の普段との違いに気づく視点</p>
--------	--

II.生活支援技術の学習 講義・演習：47時間、実習：6時間

(4) 生活と家事

	(6時間) 担当 池内ますみ 中村妙子 助手 武田千幸	使用備品
内 容	<p>家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援</p> <p>生活歴、自立支援、予防的な対応、主体性・能動性を引き出す、多様な生活習慣、価値観</p> <p>掃除、洗濯、被服の補修</p> <p>ボタンつけ、基本の縫い方の演習</p>	アイロン、手縫い針、まち針、縫い糸、糸切ばさみ、裁ちばさみ

(5) 快適な居住環境整備と介護

	(4時間) 担当 武田千幸 助手 潮谷光人	使用備品
内容	<p>快適な居住環境に関する基礎知識、高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法</p> <p>家庭内に多い事故、バリアフリー、住宅改修、福祉用具貸与</p> <p>福祉用具を実際に手に取り、使い方を学び、演習を行う</p>	<p>車椅子、ベッド、ポータブルトイレ、便器（和式・和洋折衷型・洋式）、尿器（男性用・女性用採尿器）、介助バー、手すり、スライディングボード、歩行器、T字杖、4点杖、ウォーカーケイン、白杖、アイマスク、自助具（スプーン、フォーク、箸）、吸い飲み、ガーグルベースン、舌ブラシ、バスボード、滑り止めマット</p>

(6) 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護

	(6時間) 担当 武田千幸 助手 藤井春美	使用備品
内容	<p>整容に関する基礎知識、整容の支援技術</p> <p>身体状況に合わせた衣服の選択、着脱、身じたく、整容行動、洗面の意義・効果</p> <p>ボディメカニクスの基本原則</p> <p>着脱の演習（座位・臥位、前開き・かぶり・和式寝巻き）</p>	<p>パジャマ、寝巻き（ゆかた式）、着脱が容易にできる衣類（片マヒ用・後ろファスナー）、ベッド、車椅子、オーバーテーブル、いす、バスタオル、タオル</p>

(7) 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護

	(9時間) 担当 武内一泰 助手 水山七瀬	使用備品
内容	<p>移動・移乗に関する基礎知識、さまざまな移動・移乗に関する用具とその活用方法、利用者、介助者にとって負担の少ない移動・移乗を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、移動と社会参加の留意点と支援、</p> <p>利用者と介護者の双方が安全で安楽な方法、利用者の自然な動きの活用、残存能力の活用・自立支援、重心・重力の働きの理解、ボディメカニクスの基本原則、移動介助の具体的な方法の演習（車いすへの移乗の具体的な方法、全面介助でのベッド・車いす間の移乗、全面介助での車いす・洋式トイレ間の移乗）、移動介助演習（車いす・歩行器・つえ等）、褥瘡予防</p>	<p>車椅子、ベッド、布団、便座（トイレ）、ポータブルトイレ、介助バー、手すり、スライディングボード、歩行器、T字杖、4点杖、ウォーカーケイン、白杖、アイマスク</p>

(8) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護

	(8時間・うち実習3時間) 担当 玖島貴宏 助手 重富直子	使用備品
内容	<p>食事に関する基礎知識、食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ、楽しい食事を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、食事と社会参加の留意点と支援</p> <p>食事をする意味、食事のケアに対する介護者の意識、低栄養の弊害、脱水の弊害、食事と姿勢、咀嚼・嚥下のメカニズム、空腹感、満腹感、好み食事の環境整備（時間・場所等）、○食事に関する福祉用具の活用と介助方法、口腔ケアの定義、誤嚥性肺炎の予防</p>	<p><食事の介護></p> <p>車椅子、オーバーテーブル、エプロン、自助具（スプーン、フォーク、箸）、いす、食器（介助用）、ビニール、タオル、ストロー、スプーン、はし、吸い飲み、調理器具</p> <p><口腔の衛生></p> <p>歯ブラシ、コップ、タオル、吸い飲み、ガーグルベースン、綿棒、舌ブ</p>

	<p>食事介助の演習（麻痺を疑似体験し、食べにくさ、食べさせにくさを体験する。臥位、座位での演習。視覚障害を疑似体験しての演習）</p> <p>実習では、利用者の実際の食事風景を観察し、食事形態の違いを理解し、身体状況に応じた食事について学ぶ</p>	ラシ、手袋
--	---	-------

(9) 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護

	(8時間・うち実習3時間) 担当 玖島貴宏 助手 永田晃子	使用備品
内容	<p>入浴、清潔保持に関連した基礎知識、さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法、楽しい入浴を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法</p> <p>羞恥心や遠慮への配慮、体調の確認、全身清拭（身体状況の確認、室内環境の調整、使用物品の準備と使用方法、全身の拭き方、身体の支え方）、目・鼻腔・耳・爪の清潔方法、陰部清浄（臥床状態での方法）、足浴・手浴・洗髪</p> <p>機械浴、個浴での介護を演習（介助される側の立場も経験する）、ベッド上での洗髪介助の演習</p> <p>実習では、利用者の実際の入浴風景を見学し、入浴介助の実際を学ぶ</p>	<p>簡易浴槽、一般浴槽、シャワーチェア、手すり、洗面器、バスボード、滑り止めマット、バスタオル、タオル、ヘアブラシ、シャンプー、リンス、綿棒、つめ切り、ドライヤー、シャンプーハット、バケツ</p> <p>石けん、ドライシャンプー、ゴム手袋、ピッチャー、タオル、ビニールシート、紙おむつ、洗髪器、耳栓、50%エタノール、ガーゼ、歯ブラシ、コップ、ガーグルベースン、つめ切り、綿棒</p>

(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護

	(6時間) 担当 玖島貴弘 助手 大野美紀	使用備品
内容	<p>排泄に関する基礎知識、さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法、爽快な排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法</p> <p>排泄とは、身体面（生理面）での意味、心理面での意味、社会的な意味、プライド・羞恥心、プライバシーの確保、おむつは最後の手段／おむつ使用の弊害、排泄障害が日常生活上に及ぼす影響、排泄ケアを受けることで生じる心理的な負担・尊厳や生きる意欲との関連、一部介助を要する利用者のトイレ介助の具体的方法、便秘の予防（水分の摂取量保持、食事内容の工夫／繊維質の食事を多く取り入れる、腹部マッサージ）</p> <p>おむつ交換（紙おむつ・布おむつ）演習、ポータブルトイレ演習、トイレ誘導演習</p>	<p>ポータブルトイレ、便器（和式・和洋折衷型・洋式）、尿器（男性用・女性用採尿器）、おむつ、おむつカバー、防水布、バスタオル、トイレトペーパー、タオル</p>

(11) 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護

	(4.5時間) 担当 武田千幸 助手 安永龍子	使用備品
内容	<p>睡眠に関する基礎知識、さまざまな睡眠環境と用具の活用方法、快い睡眠を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法</p> <p>安眠のための介護の工夫、環境の整備（温度や湿度、光、音、よく眠るための寝室）、安楽な姿勢・褥瘡予防</p> <p>シーツ交換の演習、安楽な体位の保持の演習</p>	<p>ベッド、マットレス、マットレスパッド、布団、毛布、掛け布団、枕、枕カバー、シーツ、ベッドブラシ、タオルケット、洗濯かご</p>

(12) 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護

	(1.5時間) 担当 水野尚美 助手 潮谷光人
内容	終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ、生から死への過程、「死」に向き合うところの理解、苦痛の少ない死への支援 終末期ケアとは、高齢者の死に至る過程（高齢者の自然死（老衰）、癌死）、臨終が近づいたときの兆候と介護、介護従事者の基本的態度、多職種間の情報共有の必要性

生活支援技術演習 11 時間

(13) 介護過程の基礎的理解

	(2時間) 担当 小木曾真司
内容	介護過程の目的・意義・展開、介護過程とチームアプローチ アセスメント、計画の立案、実施、評価の流れを理解する。 事例を用いて演習を行う。

(14) 総合生活支援技術演習

	(9 時間) 担当 森永夕美 小木曾真司	使用備品
内容	事例による展開を行う。 事例に基づき、利用者像をイメージする。一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況にあわせた介護を提供する視点の習得を目指す。	生活支援技術の学習 講義・演習で用いた備品

10 振り返り（実習 4 時間）

武田千幸

内容	特別養護老人ホームでの実習 実際に利用者、利用者を支える介護職員とかかわり、介護の実際を学ぶ
----	---

協力実習機関	所在地	実習担当者名
特別養護老人ホーム 万葉苑	〒630-8202 奈良市川上町 875 番地の 1	岡田朋子
介護実習（施設見学・利用者とのコミュニケーション） 実習にあたっての説明・指導・実習記録へのコメント記入・終了後の振り返り 延べ実習数 6名 施設ホームページ http://www.manyoen.jp/		
特別養護老人ホーム 西ノ京苑	〒630-8044 奈良市六条西 5 丁目 17 番 43 号	石田浩二
介護実習（施設見学・利用者とのコミュニケーション） 実習にあたっての説明・指導・実習記録へのコメント記入・終了後の振り返り 延べ実習数 6名 事業概要 特別養護老人ホーム デイサービスセンター 在宅介護支援センター		
特別養護老人ホーム 和楽園	〒630-8424 奈良市古市町 1886 番地の 1	西岡奈都
介護実習（施設見学・利用者とのコミュニケーション） 実習にあたっての説明・指導・実習記録へのコメント記入・終了後の振り返り 延べ実習数 10名 施設ホームページ http://www.warakuen.or.jp/		
特別養護老人ホーム サンタ・マリア	〒631-0806 奈良市朱雀 4-3-10	玖島貴宏
介護実習（施設見学・利用者とのコミュニケーション） 実習にあたっての説明・指導・実習記録へのコメント記入・終了後の振り返り 延べ実習数 8名 施設ホームページ http://www.yozefu-home.or.jp/santa_maria/		

講師履歴一覧

講師氏名	担当教科名	講師履歴
安永 龍子	4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (2) 医療との連携とリハビリテーション 6. 老化の理解 (2) 高齢者と健康 8. 障害の理解 (1) 障害の基礎的理解 (2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 (3) 家族の心理、かかわり支援の理解 9. ことろとからだのしくみと生活支援技術 (11) 睡眠に関したことろとからだのしくみと自立に向けた介護	現職 奈良佐保短期大学 教授 担当 「介護概論Ⅱ」「障害の理解Ⅱ」「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「介護総合演習Ⅰ・Ⅱ」「介護実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「認知症の理解Ⅰ」 資格 看護師 S54、保健師 S60
森永 夕美	1. 職務の理解 (1) 多様なサービスの理解 (2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解 9. ことろとからだのしくみと生活支援技術 (14) 総合生活支援技術演習	現職 奈良佐保短期大学 准教授 担当 「社会福祉概論」「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「介護過程Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「介護総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「介護実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「高齢者の心理」「認知症の理解Ⅱ」 資格 介護福祉士 H10、社会福祉士 H17、介護支援専門員 H18
水野 尚美	6. 老化の理解 (1) 老化に伴うことろとからだの変化と日常 7. 認知症の理解 (1) 認知症を取り巻く状況 (2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 9. ことろとからだのしくみと生活支援技術 (1) 介護の基本的な考え方 (2) 介護に関することろの	現職 奈良佐保短期大学 講師 担当 「介護概論Ⅰ」「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「介護総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「介護実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「認知症の理解Ⅰ」「医療的ケアⅠ」 資格 看護師 H5

	<p>しくみの基礎的理解 (12) 死にゆく人に関する ところとからだのしくみと 終末期介護</p>	
<p>小木曾真司</p>	<p>7. 認知症の理解 (3) 認知症に伴うところと 体の変化と日常生活 (4) 家族への支援 9. ところとからだのしく みと生活支援技術 (13) 介護過程の基礎的理 解 (14) 総合生活支援技術演 習 10. 振り返り (1) 振り返り</p>	<p>現職 奈良佐保短期大学 助教 担当 「高齢者に対する支援と介護保険制度」「コミュニケ ーションの基本」「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「介護総 合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「介護実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「介 護過程Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」 資格 介護福祉士H16、健康管理士H16、介護支援専門員H 22</p>
<p>池内ますみ</p>	<p>9. ところとからだのしく みと生活支援技術 (4) 生活と家事</p>	<p>現職 奈良佐保短期大学 教授 担当 「家事支援の技法Ⅱ・栄養」</p>
<p>中村 妙子</p>	<p>9. ところとからだのしく みと生活支援技術 (4) 生活と家事</p>	<p>現職 奈良佐保短期大学 教授 担当 「家事支援の技法Ⅱ・被服」H21～24</p>
<p>潮谷 光人</p>	<p>2. 介護における尊厳の保 持・自立支援 (1) 人権と尊厳を支える介 護 4. 介護・福祉サービスの 理解と医療との連携 (1) 介護保険制度 (3) 障害者自立支援制度お よびその他制度 9. ところとからだのしく みと生活支援技術 (5) 快適な居住環境整備と 介護 (12) 死にゆく人に関する</p>	<p>現職 奈良佐保短期大学 准教授 担当 「障害の理解Ⅰ」 資格 社会福祉士H18</p>

	こころとからだのしくみと終末期介護	
武田 千幸	9. こころとからだのしくみと生活支援技術 (4)生活と家事 (5) 快適な居住環境整備と介護 (6) 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (11) 睡眠に関するこころとからだのしくみと自立に向けた介護 10. 振り返り (2)就業への備えと研修修了後における継続的な研修	現職 奈良佐保短期大学 講師 担当「高齢者に対する支援と介護保険制度」「生活支援技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」「介護総合演習Ⅰ・Ⅱ」「介護実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」 資格 介護福祉士 H12
脇元 正三	2. 介護における尊厳の保持・自立支援 (2)自立に向けた介護 5. 介護におけるコミュニケーション技術 (1)介護におけるコミュニケーション (2)介護におけるチームのコミュニケーション	現職 医療法人健和会ケアハウスふる里 資格 介護福祉士H19
武内 一泰	9. こころとからだのしくみと生活支援技術 (3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 (7) 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	現職名 特別養護老人ホーム高秀苑 資格 介護福祉士 H22
玖島 貴宏	9. こころとからだのしくみと生活支援技術 (8) 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (9)入浴、生活保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 (10)排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向け	現職 特別養護老人ホームサンタマリア 資格 介護福祉士 H16

	た介護	
永山 愛	3. 介護の基本 (1) 介護職の役割、専門性 と他職種との連携 (2) 介護職の職業倫理 (3) 介護における安全の確保 とリスクマネジメント (4) 介護職の安全	現職 特別養護老人ホーム西ノ京苑主幹
		資格 介護福祉士 H12

演習助手

藤井 春美	9. こころとからだのしくみ と生活支援技術 Ⅱ. 生活支援技術の学習 (6) 整容に関連したこころと からだのしくみと自立に向けた 介護	現職 特別養護老人ホーム高秀苑
		資格 介護福祉士 H23
水山 七瀬	9. こころとからだのしくみ と生活支援技術 (7) 移動・移乗に関連した こころとからだのしくみと 自立に向けた介護	現職 特別養護老人ホーム高秀苑
		資格 介護福祉士 H24
重富 直子	9. こころとからだのしくみ と生活支援技術 (8) 食事に関連したこころ とからだのしくみと自立に 向けた介護	現職 特別養護老人ホームサンタマリア
		資格 介護福祉士 H23 福祉住環境コーディネータ 2 級 H25
永田 晃子	9. こころとからだのしくみ と生活支援技術 (9) 入浴、生活保持に関連した こころとからだのしくみと自 立に向けた介護	現職 特別養護老人ホームサンタマリア
		資格 介護福祉士 H17
大野 美紀	9. こころとからだのしくみ と生活支援技術 (10) 排泄に関連したこころと	現職 特別養護老人ホームサンタマリア

	からだのしくみと自立に向けた介護	資格 介護福祉士 H23
--	------------------	--------------